

2024 年 11 月 29 日
日本船主協会 海務部・総務部

「海賊対処活動に対する感謝の集い」の開催について

当協会は、2024 年 11 月 27 日（水）、海運ビルにおいて「海賊対処活動に対する感謝の集い」を開催いたしました。当日は、防衛省、国土交通省、海上保安庁その他関係省庁および国会議員など、ソマリア沖・アデン湾での海賊対処活動にご尽力いただいている関係の皆さま総勢約 350 名にお集まりいただきました。

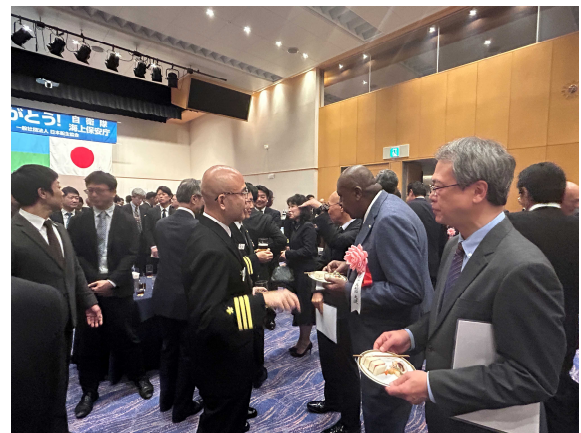
冒頭の明珍幸一会長の挨拶では、海賊対処法成立前の活動も含め、900 回以上の護衛活動と、日本関係船舶を含む 4,000 隻を超える商船の護衛に対する海賊対処活動に謝意を示し、「海賊対処活動および中東地域での情報収集活動」が 1 年延長されたことについても改めて感謝しているとし、引き続き、国際社会と連携した海賊対処活動の継続が必要である旨を伝えました。

来賓を代表して、中野洋昌国土交通大臣、本田太郎防衛副大臣、神田潤一法務大臣政務官、生稲晃子外務大臣政務官、瀬口良夫海上保安庁長官、川村伸一防衛省統合幕僚監部運用部長、ジブチ共和国イブラヒム・ビレ・ドゥアレ駐日特命全権大使よりご挨拶をいただきました。

挨拶では、国土交通大臣をはじめ、複数の来賓より、これまでの 15 年間、護衛した商船に 1 隻の被害も発生させなかったわが国護衛活動に対する高い評価と、特に最近は不安定化する中東情勢の下、過酷な環境において緊張感をもって任務を遂行する自衛官、海上保安官への深い敬意と感謝の念が表されました。

また、ドゥアレ大使からは、隊員への敬意とともに、日本から新たに供与された巡視艇も活用し、ジブチおよび周辺海域の安全に一層寄与したいとの強い意欲が示されました。

続いて長澤仁志副会長の乾杯の発声により始まった歓談では、司会の 2024 年度ミス日本「海の日」有馬佳奈さんによる、海賊対処活動任務を終えた自衛官・海上保安官へのインタビューで現場の声などを盛り込みつつ、本会は盛会のうちに終わりました。



会場の模様



お出迎え



明珍幸一当協会会長



中野洋昌国土交通大臣



本田太郎防衛副大臣



神田潤一法務大臣政務官



生稲晃子外務大臣政務官



瀬口良夫海上保安庁長官



防衛省統合幕僚監部 川村伸一運用部長



イブラヒム・ビレ・ドゥアレ
駐日特命全権大使



長澤仁志当協会副会長による乾杯



インタビューの様子



歓談の様子